ハイランド株式会社

G-Medic™ Pouch

カテゴリーBの臨床・治験検体（UN3373）輸送用の2次容器

※国連規格3重包装の2次容器として使用できます。

IATA（国際航空運送協会）の包装基準 650（PI650）に適合する耐漏洩性の袋 ➡地上輸送・航空輸送も可能

UN 規格（UN3373　P650）の耐圧基準クリアの袋
（−40℃ ～ +55℃ の温度範囲：95Kpa の耐圧性）



特許出願済み



袋の底にマチがあるので、検体を自立した状態で輸送可能。



袋の底にマチがあるので、無駄なスペースが少ない。3次容器（外装容器）のコンパクト化が可能。

商品スペック

	品　番	パウチ 外寸 (W×L(mm))	パウチ 有効内寸 (W×L(mm))	パウチに収納可能な 試験管本数
	ST-50	120 × 250	100 × 130 ※参考値	 15mL 試験管× 3本 または 50mL 試験管× 1本 または 外形45φ × H60mm(約50mL)× 1ヶ

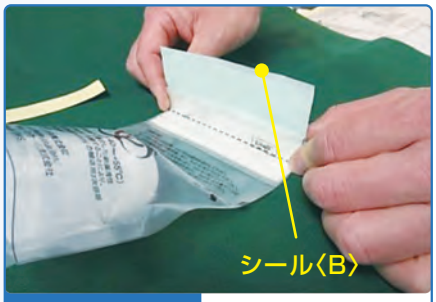
※上記以外のサイズをご要望の場合、ご相談下さい。

封止方法



Step1

シール〈A〉の離形紙を剥がし、指定のマーク同士が重なるように、指定のライン-1で谷折りにしてシール〈A〉の半分位の位置に貼って下さい。



Step2

指定のライン-2でパウチを谷折りにし、シール〈A〉の余った部分にパウチを貼って下さい。

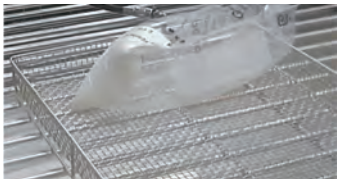


Step3

離形紙を剥がし、シール〈B〉をパウチに貼って下さい。

UN規格（UN3373 P650）試験

Test:1 95KPaの耐圧性



−40℃、+55℃の各温度下で、袋内を加圧し、耐圧性を確認

⬇

破袋なし

Test:2 耐漏洩性



耐圧試験後、リークチェック液で確認

⬇

漏洩なし

安全に関する注意事項

- 検体は、UN規格（UN3373 P650）に定める3重包装を行い輸送下さい。それ以外での包装形態でのご使用はしないで下さい。
- G-Medic™ Pouchは2次容器として吸水シートおよび外装容器を組み合わせて、ご使用下さい。
- 記載の方法に従い、袋の封止を行い、ご使用下さい。
- 2次容器は密閉性を有しているため、ドライアイスその他温度変化等の影響によって容器を破裂させるおそれのある物質を2次容器内に入れないで下さい。
- 廃棄の際は、各自治体の定める廃棄方法に従って下さい。

ハイランド株式会社

■本　　社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館本店ビル
Tel. 03-6458-1252｜Fax. 03-3258-2161

■大阪営業所 〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町4-2-14 京阪神瓦町ビル
Tel. 06-6204-1100｜Fax. 06-6204-1199

■九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-6-10 FKビル
Tel. 092-408-4103｜Fax. 092-408-4104

■販売代理店